



AOKIホールディングス、「五輪汚職」の逆境からどう立て直す？ | ビジネスパーソンのための占星術



こんにちは、柳川隆洸です。

新月のタイミングに合わせて毎月1回、「ビジネス×占星術」の内容で連載をしています。西洋占星術では1ヶ月の始まりを新月としており、新月の星配置を見ることで1ヶ月の社会的傾向を知ることができます。

まずは先月9月26日の新月から1ヶ月の振り返りをしたいと思います。

先月のメッセージで予想外の出来事や混乱が発生しやすい影響が続くことをお伝えしていました。

9月末にロシアのプーチン大統領がウクライナ東・南部4州の併合を宣言し、世界中から強い批判を集める一方で、ロシア国内では予備役招集に反対する若者が国外脱出やデモを起こし、プーチン大統領に対し強い反発が起きています。

中国では習近平総書記が長期政権を意識し台湾統一を「必ず実現する」と宣言するなど、動搖が広がっています。

このような権力者の強い発言が目立つ1ヶ月でしたが、前回もお伝えした通り冥王星が順行したことと、社会の権力者を覆すような影響も起きやすく、その点は引き続き注視すべきでしょう。

そんな状況での11月（10月末）新月からの星の影響を見てみましょう。

攻撃性を意味する火星が逆行

新月は10月25日6:54です。

今回の新月は日食でもありますので、通常の新月以上のメッセージが込められます。

日食はそもそも不吉な時期と古来から言われていますが、特に今回は蠍（さそり）座での日食なので、テロや隠された中の危険を意味します。

表沙汰にニュースにならないかもしれません、この時期のことがキッカケで大きな社会の転機になる可能性も考えられます。

そんな日食に呼応するように、攻撃性を意味する火星が10月30日頃から逆行を始めます。

火星の逆行は非常に怒りっぽく、苛立ったり、性急で軽率な行動を取ったりする傾向があり、また国単

位では軍事力を意味しますので、ウクライナの情勢などにも変化が起きやすくなるかもしれません。

その火星が海王星という天体とハードにつながりますので、火星と海王星の組み合わせはウイルスの蔓延を意味することもあるので、コロナが再燃する可能性も捨てきれません。

このように少々ネガティブなイベントが立て続けにあります、10月27日から木星が魚座に入り年末迄続きます。

木星は拡大の天体なので、この天体を追いかけることで、これからどのような事が拡大発展しやすいかの目安になります。

それが魚座に入るので魚座的なコトが発展しやすいのですが、魚座は基本的には優しく達観した星座ですから、穏やかな雰囲気を世界中に広げる傾向が出てきます。

火星などの動きは激しいのですが、木星が魚座に入ることである程度相殺されるのではないかと予想しています。

ただ、火星と海王星の組み合わせ、そして木星の魚座を加味すると、どちらも水害を意味する側面もあるので、この点は注意が必要です。

私たちの生活に影響しそうなのが、火星の逆行が始まる10月30日頃からの怒りの感情が出やすい点です、感情的になりすぎないよう注意をしてお過ごし下さい。

【企業ピックアップ】AOKIホールディングス

毎月気になる企業をピックアップし、その企業の占星術的な視点からポイントをお伝えしています。

今回はAOKIホールディングス（1976年8月21日設立）をピックアップしました。

AOKIホールディングスは、紳士服業界第2位です。1958年に長野県で創業し、89年に東証2部、91年に東証1部（現東証プライム市場）に上場するなど、順調に規模を拡大してきました。

一方で、紳士服業界の売り上げは2014年から16年ごろがピークで、現在は減少傾向が続き、特に新型コロナウイルス感染に伴るテレワーク（在宅勤務）の広がりなどで20年以降は、さらに厳しい経営環境に置かれました。

ですが同社の業界でも珍しいユニークな取り組みで、22年3月期決算では赤字幅も大幅に縮小され通期では最終黒字を見込まれており、業績を急回復させています。

そんな中、22年7月に東京五輪・パラリンピックの大会組織委員会元理事とAOKIホールディングスの汚職疑惑が報道され世間に衝撃をもたらしました。

東京五輪の公式スーツを手がけた実績は汚職事件で失墜してしまうのか、今後のAOKIホールディングスを西洋占星術を使ってチェックしていきたいと思います。

横浜市内のAOKIホールディングス本社
コロナ禍の中、「パジャマスーツ」の大ヒット

まずはAOKIホールディングスの傾向を占星術で見てみようと思います。

同社のホロスコープを見ると、アパレル企業によく見られる獅子座に天体を集めの傾向が同社にも顕著にあり、さらに実用性を意味する乙女座にも多く天体を集めています。

表現力を意味する獅子座だけに多く集める企業であれば、ファッショニ性に富んだアパレル企業に見受けられますが、同社のように乙女座にも多く集めるとファッショニ性に加えて実用性も兼ね備えたアパレル展開をしやすくなります。

AOKIが提案する紳士服はまさにファッショニ性と実用性を兼ね備えたラインナップが多くあります。ウエストサイズをワンタッチで調整出来たり、自宅で洗えるスーツやストレッチの効いた素材をセンス良く取り入れる工夫はなどはその代表でしょう。

またアイデアや流行を意味する天王星という天体が、企業の発展力を意味する太陽に援助しています。その結果、スーツのようなトラディショナルな商品を扱いながらも時代に即した商品開発をする傾向にあります。

2016年以降、全国的に右肩下がりだった紳士服をコロナ禍がとどめを刺すようにその需要を大きく減退させました。

そんな中、AOKIが提案した自宅ワークをする社会人のための「パジャマスーツ」は大ヒットとなり、赤字幅を大幅に縮小させました。

紳士服以外にも、複合カフェ「快活CLUB」、セルフ型フィットネスジム「FiT24」を両輪とするエンターテイメント事業は時代に合ったサービス展開で市場からの評価も高く、增收増益を続け、全売上高の3割以上を占めるまでに成長しています。

大胆な行動力がネガティブに出て思わぬ落とし穴に？

創業者で前会長の青木拡憲氏のスピード感ある采配には定評があります。立て続けにユニークなアイデアを実現できたのは前会長の存在が欠かせなかったようです。

やはり創業者の気質は法人設立の際にも影響するようで、同社の大胆な行動力はシッカリとホロスコープにも表現されています。

ただ大胆な行動力は、一足飛びに成果を出そうとする気質とも受け取れてしまうので、それがネガティブに出てしまうと思わぬ落とし穴に落ちることもあり、今回のような事件もその一端なのかもしれません。

ではこれからAOKIホールディングスの気になる今後の流れの傾向を見てみようと思います。

やはり、まずチェックしたくなるのが、今回の事件が起きた時に同社がどのような影響を受け、今後信頼を回復する可能性があるのかがポイントになるかと思います。

AOKI側から五輪事業で元理事に便宜を図るよう依頼をしたのが2017年10月頃からだったそうです。

この頃の同社のホロスコープを見ると、「新しい可能性を模索しなければ」という衝動が強く出やすい星の影響があり、加えて日本全体で紳士服の売上減退が問題になっていた時期でもありました。

AOKIが東京五輪の公式スーツを手がけることは社内外に大きな影響を当然もらたらしますから、犯罪行為であったとしても便宜を図るよう依頼したくなる程の衝動が社内には合ったことが見受けられます

。

ただ、当時のAOKIは紳士服の売上高が低迷しつつもエンターテイメント事業が好調で、23年頃には紳士服の売上げを追い抜く予測も報道されており、同社らしい活躍も実現していましたので、公明正大な選択をすることも十分可能だったでしょう。

都内の店舗看板（東京・秋葉原）

逆境が原動力になるポジティブな星配置も

そして2022年7月に問題が発覚するのですが、この頃のホロスコープでは惑わせる効果をもつ海王星という天体が強く影響している時期で、このような時には信頼関係を失墜させるイベントが多く発生しやすくなっていますが、その通りの事態が発生したわけです。

このように社会からの信頼を失墜させる結果となりましたが、ここからの回復はあり得るのかというと、恐らくこれ以上ネガティブな状況にはならないのではないかと感じています。

現在の星配置はネガティブな面もありますが、同社のやる気や勢いを意味する火星に対し、情熱的に大きな力を発揮する星の影響があり、その結果、前会長の不祥事に気落ちすることなく社内の雰囲気は向上心に満たされやすく、逆境であることが原動力になるというポジティブな影響も受けているのです。

また23年以降のホロスコープを見ても、致命的でネガティブな星配置は見受けられないので、今回の事件がある程度の決着を見せれば、それ以降の発展はこれまで通りの期待ができるのではないかと予想されます。

美と機能性とアイデアに満ちた同社の社風を生かした活躍が、今回のネガティブな事件も上書きするだけの結果を実現してくれそうな未来を感じます。

※次回公開予定は11月23日です。